



やさしき通信

発行日
平成 29 年
2 月

穏やかな晴天のもと平成29年がスタートしました。初詣などに出かけた方も多かったのではないのでしょうか。

周行会も1月4日に仕事始めとなり、動きはじめました。院長先生の訓示にありましたように目標を立てて有意義な一年を過ごしたいですね。

イベント紹介

★平成28年12月10日、病院のクリスマスコンサートが開催されました。

サンタクロースの衣装を身に着けた院長先生により、開会宣言が高らかにおこなわれ、続いて、東北福祉大学・「ボランペア」によるアカペラ演奏、ベガルタ仙台チアリーダーイング部による演技、上杉山通小学校・合唱部による合唱が披露されました。皆が美しい歌声に癒されました。また、チアリーダーイング部の圧巻の演技に元気をいただきました。

コンサートには、入院中の患者様やご家族が大勢、参加されました。参加された方には、ささやかなクリスマス

プレゼントが贈られました。

患者様方と病院スタッフが共に、素敵なクリスマスをお祝いすることができました。

★1月8日にトラストでは新年会を行いました。

午前は福笑いや書初めを行い、皆様にたくさん作品を作っていただきました。午後はボランティアによる日本舞踊の鑑賞、餅つきや獅子舞の体験で盛り上がりました。

昔から獅子舞に頭をかんでもらうと語呂合わせで「獅子舞が噛みつく」と神がつく」という縁起の意味があるそうです。トラストの利用者様も縁起担ぎの意味を込めて獅子舞に頭を噛んでもらっていました。



★1月14日、今回で連続9回目になる「どんと祭」に周行会スタッフが参加しました。

例年に比べて厳しい寒さのなか、参拝者や付添い役が協力して参拝に臨み、周行会の繁栄、患者様と周行会スタッフの健康と幸せを祈願しました。

伝統を重んじた周行会スタッフの勇姿は卓越していました。参拝中は、「格好いいね。」「凄いいね。」などといった、お褒めの言葉を多くの方々からかけていただきました。